

# 18. 予 防 接 種




## [1] 定期予防接種（予防接種法）

感染症の発生及びまん延を予防するため、法令で定められた疾病（ポリオ・ジフテリア・百日せき・破傷風・麻しん・風しん・日本脳炎・結核・Hib・小児の肺炎球菌・ヒトパピローマウイルス・インフルエンザ）の予防接種を行なっている。対象者に通知し、区内契約医療機関で実施している。

平成24年9月1日から不活化ポリオワクチンの導入に伴い、経口ポリオ生ワクチン（春・秋実施）集団接種は定期予防接種外となった。また、11月1日からはDPT-IPVの四種混合ワクチン、平成25年4月1日からはHib、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチン、平成26年10月1日からは、水痘（みずぼうそう）、高齢者肺炎球菌ワクチンが定期接種化された。平成28年10月1日からはB型肝炎ワクチンが定期接種化された。平成31年2月1日から風しん第5期が追加された。

### 予防接種法令等の改正（平成21年度以降について記載）

対象疾病(ワクチン)		年度	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元
結核	BCG											
ジフテリア(D) 百日せき(P) 破傷風(T) ポリオ (OPV,IPV)	三種混合 (DPT)											
	四種混合 (DPT-IPV)											
	生(OPV)											
	不活化 (IPV)											
麻しん 風しん	1期 2期											
	3期 4期											
	風しん5期											
日本脳炎 (新ワクチン)	1期	17.5.30～										
	2期	接種差し控え										
Hib感染症												
小児用肺炎球菌												
水痘(水ぼうそう)												
おたふくかぜ												
ロタウイルス												
ヒトパピローマウイルス	子宮頸がん 予防											
B型肝炎ウイルス												
高齢者肺炎球菌												

凡例		定期予防接種
		定期予防接種(改正後)
		任意予防接種

□定期予防接種一覧

対象疾病（ワクチン）		予防接種法による対象年齢	通知の対象年齢
結核	BCG	1歳に至るまで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
ジフテリア(D) 百日せき(P) 破傷風(T) 急性灰白髄炎 (ポリオ/P)	不活化ポリオ[1期初回]	生後3か月以上 7歳半に至るまで	—
	不活化ポリオ[1期追加]		
	DPT[1期初回]	生後3か月以上 7歳半に至るまで	—
	DPT[1期追加]		
	DPT-IPV[1期初回]	生後3か月以上 7歳半に至るまで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
	DPT-IPV[1期追加]		
DT[第2期]	11歳以上13歳未満	11歳の誕生月翌月に通知	
麻しん 風しん	麻しん・風しん混合 MR[1期]	1歳以上2歳に至るまで	生後11か月に達した者 (1歳の誕生月の前月末に通知)
	麻しん・風しん混合 MR[2期]	5歳以上7歳未満で、 小学校就学前の1年間 (就学前年度4/1~3/31)	小学校就学の1年前に通知
	風しん[5期] 令和3年度末までの 時限措置	昭和37年4月2日から昭和54 年4月1日に生まれた男性	令和元年5月に昭和47年4月2 日から昭和54年4月1日生まれ の男性に、令和2年3月に昭和37 年4月2日から昭和54年4月1 日生まれの男性に通知
日本脳炎	1期初回	生後6か月以上 7歳半に至るまで	3歳に達した者 (3歳児健診通知に同封)
	1期追加		
	2期	9歳以上13歳未満	9歳の誕生月翌月に通知
Hib感染症	1期初回	生後2か月以上 5歳に至るまで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
	1期追加		
肺炎球菌感染症 (小児)	1期初回	生後2か月以上 5歳に至るまで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
	1期追加		
水痘 (みずぼうそう)	—	1歳以上3歳に至るまで	生後11か月に達した者 (1歳の誕生月の前月末に通知)
B型肝炎	—	1歳に至るまで	生後2か月に達した者 (生後1か月の月末に通知)
ヒトパピローウイルス 感染症	(子宮頸がん予防)	12歳となる日の属する年度 の初日から16歳となる日の 属する年度の末日までの間に ある女子	中学1年生の女子 ※積極的勧奨差し控え
肺炎球菌感染症 (高齢者)	令和5年度まで 経過措置	対象年度期間内	今年度65歳,70歳,75歳,80歳, 85歳,90歳,95歳,100歳に達し た者、60~64歳の特定疾患のあ る者
高齢者 インフルエンザ	接種期間 10月1日から1月31日	65歳以上 (特定疾病者は60歳以上)	12月末現在で65歳に達する者

## (1) BCG、DPT/DT、ポリオ (IPV)、DPT-IPV

□実績

(単位：人)

年度	区分	BCG	三種混合 (DPT)		二種 混合 (DT)	不活化ポリオ (IPV)		四種混合 (DPT-IPV)	
			1 期初回	1 期追加	2 期	1 期 初回	1 期 追加	1 期 初回	1 期 追加
27	対象者(延)	2,188			1,386			6,564	2,188
	実施者(計)	2,008	0	5	627	43	110	5,831	1,771
	接種率(%)	91.8			45.2			88.8	80.9
28	対象者(延)	2,207			1,394			6,621	2,207
	実施者(計)	2,039	0	0	753	13	66	6,253	1,909
	接種率(%)	92.4			54.0			94.4	86.5
29	対象者(延)	2,205			1,495			6,615	2,205
	実施者(計)	2,024	0	0	566	21	48	6,225	1,926
	接種率(%)	91.8			37.9			94.1	87.3
30	対象者(延)	2,141			1,552			6,423	2,141
	実施者(計)	1,967			707	6	25	6,102	2,018
	接種率(%)	91.9			45.6			95.0	94.3
元	対象者(延)	<b>2,044</b>			<b>1,582</b>			<b>6,132</b>	<b>2,044</b>
	実施者(計)	<b>2,024</b>			<b>914</b>	<b>0</b>	<b>5</b>	<b>6,117</b>	<b>1,976</b>
	接種率(%)	<b>99.0</b>			<b>57.8</b>			<b>99.8</b>	<b>96.7</b>

(注1) 四種混合ワクチン (DPT-IPV) は平成24年11月1日から開始。

(注2) BCGは平成26年度から区内医療機関での個別接種とした。

## (2) 日本脳炎、高齢者インフルエンザ

□実績

(単位：人)

年度	区分	日本脳炎						インフルエンザ (高齢者)
		1 期初回 (7 歳 6 か月に至 るまで)	1 期追加 (7 歳 6 か 月に至る まで)	1 期初回 (7 歳 6 か 月～20 歳 未満)	1 期追加 (7 歳 6 か 月～20 歳 未満)	2 期 ( 9 歳～ 13 歳未 満)	2 期 (13 歳～ 20 歳未 満)	
27	対象者(延)	3,584	1,792			1,474		58,251
	実施者(計)	2,885	1,172	183	237	412	400	25,277
	接種率(%)	80.5	65.4			28.0		43.4
28	対象者(延)	3,722	1,861			1,515		58,515
	実施者(計)	3,569	1,300	142	161	792	302	24,351
	接種率(%)	95.9	69.9			52.3		41.6
29	対象者(延)	3,758	1,879			1,567		58,630
	実施者(計)	3,568	1,308	135	152	820	228	21,733
	接種率(%)	94.9	69.6			52.3		37.1
30	対象者(延)	3,564	1,782			1,632		58,574
	実施者(計)	4,005	1,669	115	192	1,027	310	24,375
	接種率(%)	112.4	93.7			62.9		41.6
元	対象者(延)	<b>4,174</b>	<b>2,087</b>			<b>1,653</b>		<b>58,253</b>
	実施者(計)	<b>3,784</b>	<b>1,760</b>	<b>140</b>	<b>110</b>	<b>1,136</b>	<b>245</b>	<b>25,702</b>
	接種率(%)	<b>90.7</b>	<b>84.3</b>			<b>68.7</b>		<b>44.1</b>

(注1) 日本脳炎については、平成21年に新ワクチン(乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン)が承認され、平成22年4月1日から3歳に対して、第1期の積極的勧奨が再開された。平成22年8月27日からは第2期でも新ワクチンの接種が可能となり、同時に第2期の対象年齢で第1期接種完了していない方について、第1期の接種が可能となった。

平成23年5月20日からは、積極的勧奨の差し控えにより予防接種の機会を逸した者(平成7年6月1日生まれから平成19年4月1日生まれまでの者)のうち7歳6か月以上9歳未満および13歳以上20歳未満の者についても、定期の予防接種の対象となった。

平成25年4月1日からは、平成7年4月2日生まれから平成7年5月31日生まれまでの者が、積極的勧奨の差し控えによる予防接種の機会を逸した者として追加された。

(注2) 平成28年4月1日から、平成19年4月2日生まれから平成21年10月1日生まれの者は、9歳から13歳未満の間に1期の不足分を定期予防接種として接種できるようになった。

## (3) 麻しん風しん (MR)

□実績

(単位：人)

年度	区分	麻しん風しん混合 (MR)			(再掲) 未接種者個別勧奨		
		対象者 (延)	実施者 (計)	接種率 (%)	勧奨者 (A)	勧奨後 接種者 (B)	接種率 (A)/(B) (%)
27	1 期	2,078	1,841	88.6			
	2 期	1,617	1,346	83.2	620	299	48.2
	風しん		2				
28	1 期	2,039	1,994	97.8			
	2 期	1,647	1,478	89.7	593	314	53.0
	風しん		1				
29	1 期	2,097	1,924	91.8			
	2 期	1,701	1,503	88.4	549	311	56.6
	風しん		2				
30	1 期	2,086	2,049	98.2			
	2 期	1,729	1,593	92.1	481	256	53.2
	風しん		0				
元	1 期	<b>2,087</b>	<b>1,994</b>	<b>95.5</b>			
	2 期	<b>1,798</b>	<b>1,624</b>	<b>90.3</b>	<b>524</b>	<b>266</b>	<b>50.8</b>
	風しん		<b>0</b>				

(注) 麻しん・風しん混合ワクチン2期未接種者(12月までの未接種者及び23区相互乗り入れによる接種者含む)に対する個別勧奨を2月に実施している。

## (4) H i b

□実績

(単位：人)

年度	区分	接種時期	対象者数	実施者数 (計)	接種率 (%)
27		第1回目	2,188	1,955	89.4
		第2回目	2,188	1,949	89.1
		第3回目	2,188	1,976	90.3
		追加	2,188	1,876	85.7
28		第1回目	2,207	2,079	94.2
		第2回目	2,207	2,070	93.8
		第3回目	2,207	2,077	94.1
		追加	2,207	1,879	85.1
29		第1回目	2,205	2,074	94.1
		第2回目	2,205	2,089	94.7
		第3回目	2,205	2,047	92.8
		追加	2,205	1,950	88.4
30		第1回目	2,141	2,065	96.5
		第2回目	2,141	2,048	95.7
		第3回目	2,141	2,049	95.7
		追加	2,141	1,975	92.2
元		<b>第1回目</b>	<b>2,044</b>	<b>1,988</b>	<b>97.3</b>
		<b>第2回目</b>	<b>2,044</b>	<b>2,004</b>	<b>98.0</b>
		<b>第3回目</b>	<b>2,044</b>	<b>1,963</b>	<b>96.0</b>
		<b>追加</b>	<b>2,044</b>	<b>1,857</b>	<b>90.9</b>

(注) 平成22年4月から平成25年3月まで、インフルエンザ菌b型による感染症(髄膜炎、敗血症、蜂巣炎、関節炎、咽頭蓋炎、肺炎及び骨髄炎など)の予防を目的として、一部助成を行っていた。平成25年4月から、定期予防接種となった。

(5) 肺炎球菌（小児）

□実績

（単位：人）

区分 年度	接種時期	対象者数	実施者数 (計)	接種率 (%)
27	第1回目	2,188	1,960	89.6
	第2回目	2,188	1,948	89.0
	第3回目	2,188	1,976	90.3
	追加	2,188	1,860	85.0
28	第1回目	2,207	2,078	94.2
	第2回目	2,207	2,079	94.2
	第3回目	2,207	2,074	94.0
	追加	2,207	1,873	84.9
29	第1回目	2,205	2,086	94.6
	第2回目	2,205	2,092	94.9
	第3回目	2,205	2,047	92.8
	追加	2,205	1,953	88.6
30	第1回目	2,141	2,069	96.6
	第2回目	2,141	2,056	96.0
	第3回目	2,141	2,056	96.0
	追加	2,141	1,985	92.7
元	第1回目	2,044	2,003	98.0
	第2回目	2,044	2,034	99.5
	第3回目	2,044	2,037	99.7
	追加	2,044	1,958	95.8

（注）平成23年4月から肺炎球菌による肺炎及び重症合併症（細菌性髄膜炎など）を予防する目的で一部助成を行っていた。平成25年4月から定期予防接種となった。

(6) 子宮頸がん予防

□実績

（単位：人）

区分 年度	接種件数（延数）			
	1回目	2回目	3回目	合計
27	4	5	4	13
28	1	2	3	6
29	12	7	4	23
30	13	10	8	31
元	49	42	28	119

（注1）平成22年11月から平成25年3月まで、接種推奨年齢にあたる中学1年生（平成22年度に限り中学1・2・3年生）の女子に対して、接種費用を区で負担していた。平成25年4月から定期予防接種となった。

（注2）平成25年6月14日の子宮頸がん予防ワクチンの積極的な接種勧奨の一時差し控えについての勧告以降、個別の接種勧奨は行っていない。

(7) 水痘（みずぼうそう）

□実績

（単位：人）

区分 年度		対象者数	接 種 時 期					接種率 （%）
			1 歳以上 2 歳未満	2 歳以上 3 歳未満	3 歳以上 4 歳未満	4 歳以上 5 歳未満	5 歳以上 小学校就学前	
27	1回目	2,078	1,813	72				90.7
	2回目	2,078	1,259	437				81.6
28	1回目	2,039	2,002	42				100.2
	2回目	2,039	1,497	299				88.1
29	1回目	2,097	1,905	307				105.5
	2回目	2,097	1,270	264				73.2
30	1回目	2,086	1,923	10				92.7
	2回目	2,086	1,649	246				90.8
元	1回目	<b>2,087</b>	<b>1,859</b>	<b>19</b>				<b>90.0</b>
	2回目	<b>2,087</b>	<b>1,628</b>	<b>213</b>				<b>88.2</b>

（注1）平成24年4月から平成26年9月30日まで水痘-帯状疱疹ウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、対象者に対し一部助成を行なっていた。対象者は、区内に在住し、1歳以上7歳未満で、小学校就学前の3月末日までの乳幼児。助成は1人につき1回。

（注2）平成25年度から、新宿区と相互乗り入れを実施（新宿区医師会と契約）。

（注3）平成26年度は9月30日までは任意予防接種。平成26年10月1日から定期予防接種（期間：1歳以上3歳未満、2回接種）となった。

（注4）平成26年度は経過措置として、1歳以上3歳に至るまでの児は2回接種、3歳以上5歳に至るまでの児は1回接種。

(8) 肺炎球菌（高齢者）

平成21年度から肺炎が要因で死亡するリスクの高い75歳以上の高齢者のうち、肺炎球菌に感染した時に重症化しやすい、慢性の疾患や特定の疾病を有する高齢者に対して、1人につき1回の肺炎球菌ワクチン接種に対する助成を行なっている。これは肺炎のり患及び重症化の予防及び肺炎球菌ワクチン接種の費用を助成することにより任意の予防接種を勧めることを目的とする。

平成23年度から、対象者を区内在住の75歳以上全員に拡大するとともに5年に1回の助成とした。ただし前回の接種日から5年を経過していない場合は対象としない。

平成26年10月1日から定期予防接種となり、生涯に1回の接種を対象としている。定期接種対象者は①65歳の者②60歳以上65歳未満のものであって、心臓、腎臓もしくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害を有する者である。なお、令和5年度までは経過措置として、その年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者が対象となっている。

□実績

(単位：人)

年度	区分	対象者数	実施件数			接種率 (%)	
			総数	一部助成	全額助成		
27		27年度65歳,70歳,75歳,80歳,85歳,90歳,95歳,100歳に達した者	10,578	2,540	2,417	123	24.0
28		28年度65歳,70歳,75歳,80歳,85歳,90歳,95歳,100歳に達した者	11,387	3,304	3,142	162	29.0
29		29年度65歳,70歳,75歳,80歳,85歳,90歳,95歳,100歳に達した者	12,585	3,688	3,539	149	29.3
30		30年度65歳,70歳,75歳,80歳,85歳,90歳,95歳,100歳に達した者	12,068	3,336	3,185	151	27.6
元		元年度65歳,70歳,75歳,80歳,85歳,90歳,95歳,100歳に達した者	7,551	1,587	1,501	86	21.0

(注1) 生活保護受給者と、中国残留邦人の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律による支給給付金を受給している方は全額助成している。

(注2) 平成26年度は9月30日まで任意予防接種、平成26年10月1日から定期予防接種となった。

(注3) 対象者の中には上記②に該当する60歳以上65歳未満の者を含む。

(9) B型肝炎

平成27年4月1日からB型肝炎ウイルスによる感染症を予防するワクチン接種の助成を行なっている。接種の費用を助成することにより、任意の予防接種を勧めることを目的とする。

対象者は、区内に在住する2か月から1歳に至るまでの乳児で、助成回数は1人につき最大3回。なお、平成27年度に限り、経過措置として2歳に至るまでが対象。

平成28年10月1日より定期接種化された。定期接種の対象者は平成28年4月1日以降に生まれた、生後1歳に至るまでの児。平成28年3月31日以前に生まれた児に対しては、引き続き1歳に至るまで任意接種の助成を行なった。



□実績

(単位：人)

年度	区分	対象者数 (延)	接種回数			接種率 (%)
			1回目	2回目	3回目	
任意	27 (1歳以上2歳未満)		2,180 (115)	2,085 (109)	2,067 (291)	
	28		1,005	976	1,248	
定期			1,078	1,108	572	
	29	6,615	2,056	2,072	1,969	92.2
	30	6,423	2,033	2,025	1,924	93.1
	元	<b>6,132</b>	<b>1,951</b>	<b>1,958</b>	<b>1,904</b>	<b>94.8</b>

(注1) 平成27年度経過措置対象者の件数は()内の数値。各件数を含む。

(注2) 平成28年度の任意接種対象者には、平成28年9月30日までは平成28年4月1日以降に生まれた2か月から1歳に至るまでの児を含む。平成28年10月1日以降は、平成28年3月31日以前に生まれた1歳に至るまでの児のみ。

## (10) 定期予防接種費用助成事業

平成28年度から、実施依頼書に基づいて23区外の依頼先にて定期予防接種を受け、依頼先自治体の費用助成がなく実費を負担した場合の費用助成を始めた。

□実績

(単位：人)

年度	区分	助成人数 (延)	内 訳	
			子ども	高齢者
28		108	65	43
29		127	96	31
30		103	87	16
元		<b>93</b>	<b>77</b>	<b>16</b>

## (11) 風しん[第5期]

平成31年2月1日から令和3年3月31日までの間に限り、風しんに係る公的接種を受ける機会のなかった昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性が定期の予防接種の対象者として追加されることとなった。対象者には抗体検査と予防接種に利用できるクーポン券を送付。まずは抗体検査を受診。検査の結果、十分な抗体がない者が定期予防接種の対象。クーポンの利用により、抗体検査・予防接種とも原則無料で受けることができる。

□実績

(単位：人)

年度	区分	発送件数	風しん 第5期	実施者数	受診率・接種率 (%)
元		18,052	抗体検査	1,836	10.2
			予防接種	406	2.2

(注1) 令和元年度の発送対象は、昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれと希望者。

(注2) 抗体検査の結果、抗体価が低い者が、予防接種の実施対象。

## [2] 任意予防接種の助成

### (1) 麻しん・風しん予防接種の経過措置

平成18年度から麻しん・風しん予防接種は、混合ワクチン第1期・第2期の2回接種となった。これに伴い、定期を過ぎた2歳から第2期対象以前の未接種者と小学校1年生の未接種者に対し、豊島区独自の経過措置（任意接種の全額助成）を設けた。

また、平成20年度から、第3期（中学1年生相当）第4期（高校3年生相当）の定期予防接種が追加されたことに伴い、平成21年度から中学2年生の第3期末接種者も加え、対象を拡大した。

さらに、平成23年7月11日から、麻しんの感染及び拡大防止を強化するため、定期接種対象者を除く2歳から18歳未満までの定期予防接種未接種者について2回までの助成を行なった。

平成25年3月末をもって第3期・第4期が終了したことに伴い、平成25年4月1日からは、対象を2歳から18歳までに拡大した。

#### □接種回数

年 齢	所要接種回数
2歳から就学1年前に達する日にいたるまでの間	1回
小学校1学年に相当する年齢から18歳までの間	2回

#### □実績

(単位：人)

区分 年度	2歳～ 第2期対象以前			小学校1年生 ～18歳まで			小学校1年生～ 6年生			中学校2年生 ～18歳まで		
	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん	麻しん・ 風しん	麻しん	風しん
27	18	0	0	33	2	8						
28	12	0	0	49	0	7						
29	12	0	0	62	1	1						
30	17	0	0	101	0	0						
元	17	0	0	66	0	0						

(2) おたふくかぜ

平成24年4月からムンプスウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、対象者に対し一部助成を行なっている。おたふくかぜワクチン接種の費用を助成することにより、任意の予防接種を勧めることを目的とする。

当初の対象者は、区内に在住し、1歳以上7歳未満で、小学校就学前の3月末日までの乳幼児。助成は1人につき1回。

平成25年度から、新宿区と相互乗り入れを実施（新宿区医師会と契約）。

平成28年度より全額助成となり、対象者が1歳から3歳に至るまでに変更された。ただし、平成28年度に限り経過措置として、7歳未満で小学校就学前の3月末日までの者も対象とした。

□実績

(単位：人)

区分 年度	接 種 時 期						接種率 (%)
	対象者数	1歳以上 2歳未満	2歳以上 3歳未満	3歳以上 4歳未満	4歳以上 5歳未満	5歳以上 小学校就学前	
27		1,788	94	62	56	212	
28	2,039	2,024	156	202	170	595	106.9
29	2,097	1,931	77				95.8
30	2,086	2,005	97				100.8
元	<b>2,087</b>	<b>1,968</b>	<b>90</b>				<b>98.6</b>

(3) ロタウイルス

平成30年4月からロタウイルスによる感染症を予防するワクチン接種を、対象者に対し一部助成を行なっている。ロタウイルスワクチン接種の費用を助成することにより、任意の予防接種を勧めることを目的とする。

対象者は、区内に在住し、平成30年4月1日以降に生まれ、1価の場合生後6週から24週0日、5価の場合生後6週から32週0日までの乳児。助成は1価の場合2回、5価の場合3回。

区分 年度	ワクチン名	対象者	1回目	2回目	3回目	接種率 (%)
30	ロタリックス（1価）	2,141	442	409		66.1
	ロタテック（5価）		1,125	984	861	
元	ロタリックス（1価）	<b>2,044</b>	<b>559</b>	<b>551</b>		<b>91.4</b>
	ロタテック（5価）		<b>1,303</b>	<b>1,328</b>	<b>1,304</b>	

(4) 先天性風しん症候群対策

平成 24 年からの風しんの流行により、平成 25 年 4 月から先天性風しん症候群の発生防止を目的とした風しんの予防接種を全額助成で実施している。平成 26 年度から風しんの抗体検査を実施するとともに、抗体価の低い方に予防接種を実施している。

対象者は、本区に住民登録があり、妊娠を希望する女性・妊娠を希望する女性のパートナー又は同居者で風しんの抗体価が低い方、風しんの抗体価が低い妊婦のパートナー又は同居者。

□実績

(単位：人)

区分 年度	対象者	麻しん・風しん混合 (MR)	風しん	合 計
27	男	89	22	111
	女	305	31	336
	合計	394	53	447
28	男	104	30	134
	女	219	104	323
	合計	323	134	457
29	男	103	20	123
	女	235	127	362
	合計	338	147	485
30	男	530	71	601
	女	748	184	932
	合計	1,278	255	1,533
元	男	283	9	292
	女	524	104	628
	合計	807	113	920

(注)風しん抗体検査実績は、16.感染症対策 [6]先天性風しん症候群予防対策事業を参照。